

科目名	院内感染管理学 (Hospital Infection Management)			科目コード	442
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次後期	関連DP	臨②③⑤
担当教員	竹内 一人、青野 晴考*、濱田 信*、末盛 浩一郎*				
授業概要	院内感染管理において貢献できるように院内感染症について理解するとともに、エビデンスに基づいた院内感染対策について教授する。				
授業目標	医療において感染症対策は重要な課題である。近年、新たな感染症のパンデミックが経験され、院内感染防止の重要性が再認識されている。また、感染症病原微生物に対する抗微生物薬の発展は著しいものがある一方で、薬剤耐性菌など新たな問題が生じている。院内感染管理学では、臨床検査技師が院内感染対策に貢献できるようにその方策、理論を理解し、エビデンスに基づいた院内感染対策について修得する。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	院内感染の現状	院内感染の現状と院内感染対策の役割	竹内一人
2	感染対策の基本	院内感染対策の基本：標準予防策と経路別感染対策、感染管理に関する法令・届出、地域連携	
3	院内感染対策の実際（1）	ICTチームによる院内感染制御の進め方	青野晴考
4	院内感染対策の実際（2）	院内感染の予防について（ワクチン、デバイスの取り扱い）、院内感染対策活動の実際と問題点（感染症サーベイランス、アウトブレイク時の対応）	
5	院内感染対策の実際（3）	免疫不全患者（がん患者、移植患者、高齢患者など）における感染対策	濱田信
6	院内感染対策の実際（4）	院内感染対策における検査室の役割と業務	
7	院内感染対策の実際（5）	感染制御に必要な抗菌薬の使い方、AMR、薬剤耐性菌の治療	末盛浩一郎
8	院内感染対策の実際（6）	高病原性病原体感染症の対策（新型コロナウイルス、新型インフルエンザ、エボラウイルスなど）	
成績評価方法	竹内、青野、濱田、末盛担当部分それぞれ25%（内訳：筆記試験のみ）		
教科書	資料を適宜配布		
参考図書等	浅利誠志・木下承皓・山中喜代治「実践感染管理」（金原出版）		
授業時間外の学習について	前回の項目について配布プリントを参考に復習する。次回の項目について教科書等を参考に予習する。		
関連科目	424 微生物学、427 微生物学実習、425 臨床微生物学Ⅰ、426 臨床微生物学Ⅱ、428 臨床微生物学実習、447 医学検査診断学Ⅰ、444 臨地実習Ⅰ、446 臨地実習Ⅲ		
備考	実 竹内：医師（医療機関）、非常勤講師：（医師、看護師、臨床検査技師）		